

報道各位

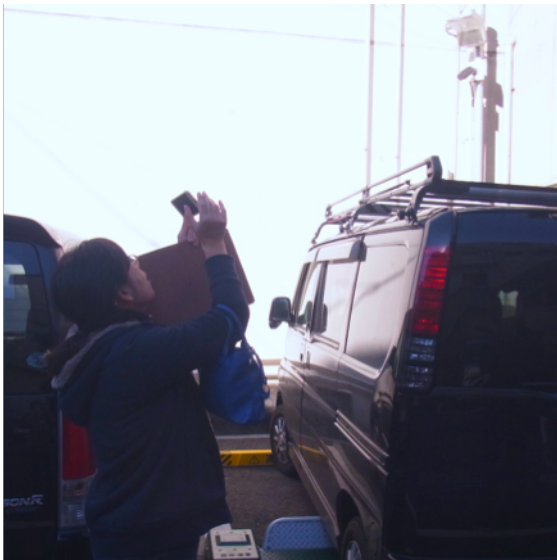
イベント開催のお知らせ

KCIC が松元地域を訪問！
子どもたちと地域の記録をつくるワークショップを開催します。

KCIC WORKSHOP リサーチプログラム

「わたしたちの地域辞典をつくるワークショップ 松元・石谷編」

2016年1月30日(土) 10:00~12:00 開催 於：石谷小学校区



かごしま文化情報センター(KCIC)は、スタッフ兼アーティストの平川 渚を講師に行っている市民対象のワークショッププログラム「KCIC WORKSHOP」を、新鹿児島市の旧5地域から松元地域の石谷地区の小学生対象に開催します。

今回、同地区で開催するのは「わたしたちの地域辞典をつくるワークショップ」。これは、身近な建築物や標識、また風景や人物など、参加者各々の視点で、自分たちの住む街を構成するモノや風景を撮影し、名前をつけていくものです。そして、名付けられたそれらを五十音順にならべて、その地区を表す“地域特有の記録”としての「地域辞典」をつくっていきます。

これまで市役所周辺で行ってきた同プログラムをたずさえて、松元・石谷の小学生のもとへ。今後の鹿児島を担っていく子どもたちの視点を通して現在の“わたしたちのまち”を記録します。

見慣れた通学路や公園の風景——、
その地に住む人を取巻く「名もなき日常」を、様々なまちで記録する。

ここでは、街がどのようなもので構成されているかを意識しながら歩き、写真を撮って、その被写体に自由に名前をつけます。それを参加者同士で共有し、後日、鹿児島市役所内に五十音順に並べて展示します。

「対象物をどう言葉にして記録するか？」を気にしながら街を見ること。それは、視覚と言語の2つを常に意識し、参加者は新たな視点を獲得します。また、“黄色い数字”や“寝転ぶ猫”といった、撮影者が対



辞典サンプル。撮影者によって名付けられた風景は、鹿児島市役所 市民アートギャラリーに展示します。

象物をどう表現するか、によって、いま、その地に生きる人の“個”の視点をあらわにするオリジナルでユニークな記録を構築することでしょう。

なお、このワークショップは今後も希望する地区を募集し、地域の記録を作り、鹿児島市の多様な魅力を積み上げていく予定です。

ぜひこの機会に、本企画を貴媒体にてご取材いただけますようお願い申し上げます。

過去の参加者による感想 (2015年12月19日 鹿児島市役所周辺で実施した際のアンケートより抜粋。参加者対象は一般)

- ・新しい発見と出会いがあってとても楽しかったです。いつも気づかない通りすぎるだけだった場所に☆
- ・今後もどんどん参加したいです。
- ・時間が足りないと最初は思いましたが、ゆっくりと歩きながら写真を撮ってタイトルをつけるのはなかなか楽しかったです。ありがとうございました。
- ・普段、気につかない風景が見つかり、とても楽しいイベントでした。

◎KCIC WORKSHOP とは?

かごしま文化情報センターが、スタッフでアーティストの平川 渚を講師に行う長期プログラム。2013年のオープン当初より、市民とともに、作品制作や街をリサーチするワークショップを行い、2014年より、県内外のアーティストを迎えたゲストアーティストプログラムも実施。アートの視点を通じて、多様な体験をするプログラムを企画・実施している。

◎地域辞典とは

参加者がエリア内でみつけ、撮影した風景的要素に各自タイトルをつけ、それらを分類し、整理して並べる。エリア内がどんなもので構成されているのかを一覧するものを、参加者の視点をういて制作する。

◎講師プロフィール：平川 渚 (ひらかわ なぎさ)

個人の制作活動と並行して、美術館や駅構内、映画館、ショッピングモールなどでワークショップを行う。2013年大分県より鹿児島市へ移住。最近の活動として博多阪急でグループ展に参加、takapla2015年秋冬イメー



ジへ作品提供など。http://www.nagisahirakawa.net

開催概要

日時：2016年1月30日(土) 10:00~12:00

エリア：石谷小学校周辺

場所：石谷校区公民館 鹿児島市石谷町 1360 (石谷小学校敷地内)

参加費：無料

対象：小学生(3年生以下は保護者同伴)

定員：10組 ※要申込み

持ち物：デジタルカメラ (スマホでもOK)

内容：デジタルカメラを持って街を歩き、街を構成するものを撮影。撮影した画像ひとつひとつにタイトルをつけ、50音順にならべて、参加者で編集する辞典を作成します。

問合せ：かごしま文化情報センター (KCIC) TEL: 099-248-8121 MAIL: information@kcic.jp

※内容に関する広報のお問合せ、またご取材の際は、電話またはメールでご連絡ください。

(開所時間：10:00~18:00 ※日・水曜休所)

主催：文化薫る地域の魅力づくり実行委員会、鹿児島市

企画：かごしま文化情報センター(KCIC) アートディビジョン

協力：NPO法人PandA

平成27年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業



■次回予告■

KCIC WORKSHOP リサーチプログラム

わたしたちの地域辞典をつくるワークショップ 桜島編

※NPO法人 桜島ミュージアム 久木田さんによる赤水地域ガイド付き

会場：2016年2月6日(土) 10:00~12:30

エリア：赤水地域(赤水公民館~薩摩赤水バス停~桜島物産館~赤水港周辺)

集合場所：赤水公民館 (赤水港退避舎) 鹿児島市桜島赤水町 1166

対象：小学生(小学3年生以下は保護者同伴)、中学生、高校生、大学生、大人

定員：20人 ※要申込み、定員になり次第締め切り

持ち物：デジタルカメラ (スマホでもOK)

協力：NPO法人桜島ミュージアム



“ KCIC WORKSHOP リサーチプログラム”とは

アーティストと一緒にテーマをもって街を見ることで、身近な地域の魅力を再発見するプログラム。2013年に開催し、好評だった「写真地図ワークショップ」から発展し、2014年よりスタートしました。新しい施設やマンションができるなか、昭和の風情を残す鹿児島市役所周辺の街を舞台にしたワークショップとして、多様なテーマを基に、講師と参加者が一緒に街をめぐり、変わり続ける街を記録し続けます。

2014年度 「あたらしい・ちずをつくる」

第1弾 5月12日 テーマ/色 エリア/易居町

参加者各々に「赤」「黄」「青」とテーマを与えて、その色の看板、壁など、目に入るものをデジタルカメラで1時間ほど撮影。その後、所内にて、各自が撮影してきた写真を参加者同士で共有し、“この街”の色相環を制作する。色別に一枚に納められた写真から、さまざまに彩られている街を再認識する機会を創出した。



第2弾 7月1日 テーマ/文字 エリア/小川町

古くから錦江湾に面する港があり、島々との交易も盛んで多様な商店が軒を連ねていたという歴史をもつ街、小川町。そのような時の流れの片鱗を、現在でも色濃く残すエリアを舞台に、参加者はデジタルカメラを持って街に出て、地域の人々の営みが見える看板や標識を撮影。各々の視点で集めた街の文字をコラージュし、一枚の作品にすることで、個人が持つ異なる視点をわかりやすく視覚化した。



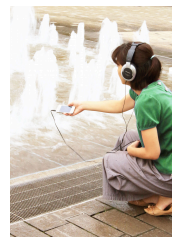
大内山 友香恵さん作品



地頭 健勝さん作品

第3弾 9月6日 テーマ/音 エリア/山下町

特別講師に打楽器奏者の木下賢也氏を迎え、市役所や郵便局、市電等、特徴的な施設の多い町、山下町の“音”を集めるワークショップを開催。参加者は、手持ちのスマートフォン等で山下町を散歩しながら音を収集し、最後にそれぞれが集めてきた“音”を編集、鑑賞する。目に見えない“音”を様々な角度から収集し、1つにすることで、普段意識をしてこなかった山下町の新しい側面が浮き彫りになった。



木下賢也

中近東打楽器奏者、ハングドラム奏者

1975年生まれ。アラビックパーカッショングループの編成とダルブッカ教室（鹿児島、熊本、宮崎）や、色々な音と一緒にハングドラムの演奏を行う。また、音でコミュニケーションのワークショップや芸術祭での滞在制作等を行い、その地域の身近な音をつなげて作品をつくっている。www.sdo-oak.com

第4弾 10月24日 テーマ/模様 エリア/みなと大通り公園周辺

鹿児島市役所前のみなと大通り公園を対象に、「フロッタージュ（擦り出し）」の方法で街にある壁や道路などの表面を紙に映しとる。触覚を頼りに街を視覚的に記録していく手法で街をつくる素材の多様な表情を細かく切り取っていった。



2015年度 「わたしたちの地域辞典をつくるワークショップ」

第1弾 11月14日、12月19日 エリア/みなと大通り公園周辺

鹿児島市役所前のみなと大通り公園で一般を対象に実施し、20代～70代の男女が参加。昭和の風情を残しつつ、新たなマンションが次々と建設され、個性的な街並みをみせる名山堀や易居町などをまわり、ダイナミックに変化する街の“いま”の魅力を記録した。

